



2025年6月20日

各 位

会 社 名 平安レイサービス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山田 朗弘
 (STANDARD コード番号: 2344)
 問合せ先 執行役員管理本部長 脇 信一
 (TEL. 0463-34-2771)

(訂正・数値データ訂正)「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2025年5月7日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

記

1. 訂正の理由

「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明致しましたので、当該事項を訂正するものです。

2. 訂正の内容 (訂正箇所には下線を付しております。)

〈添付資料2ページ〉

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(訂正前)

② 葬祭事業

当事業では、平安レイサービス及びさがみライフサービスの2社で構成されております。

当連結会計年度において建物貸切型の小規模葬祭施設として2024年5月に「湘和会館竹松」、2024年9月に「湘和会館国府津」、2024年11月に「湘和会館北鎌倉」を開業し順調に施行件数を伸ばしました。

また、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出の品々で人柄を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、重低音から超高音まで原音を忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」により故人を偲ぶ音楽葬をはじめとした自由葬の提案等、従来の形式的な葬儀のみならず近年の多様化するニーズを見据え無宗教葬へのアプローチも強化致しました。また、ご家族が故人にゆったりと寄り添えるご安置個室「貴殯室」、その他社内制作によるオリジナル商品を通じてご家族の方々の想いを形にする提案を継続致しました。加えて、幅広い顧客ニーズに対応するべく「追悼生花祭壇」のラインナップを追加いたしました。

教育面では、当社独自となる生前相談の研修であるカウンセリングセールストーク研修、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するコンサルティングセールストーク研修を現場で常に行えるよう、管理職に対して改めて実施いたしました。また、電話やメール相談を管理して集中対応するコールセンター機能を構築し、生前相談数増加と決定率向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度において当社主要エリアにおける死亡人口増減率は前年同期に比べ上昇する中、当社グループの葬儀施行件数は増加となりました。また、各種対策の効果により葬祭一件単価も増加したため、売上高は9,192百万円(前年同期比5.8%増加)、営業利益は2,647百万円(前年同期比6.9%増加)となりました。

(訂正後)

② 葬祭事業

当事業では、平安レイサービス及びさがみライフサービスの2社で構成されております。

当連結会計年度において建物貸切型の小規模葬祭施設として2024年5月に「湘和会館竹松」、2024年9月に「湘和会館国府津」、2024年11月に「湘和会館北鎌倉」を開業し順調に施行件数を伸ばしました。

また、故人を生花で囲んで送る「花園」や思い出の品々で人柄を表現する「追悼壇」、オブジェや装飾と生花を融合させた「追悼生花祭壇」、重低音から超高音まで原音を忠実に再現する「オリジナル大型スピーカー」により故人を偲ぶ音楽葬をはじめとした自由葬の提案等、従来の形式的な葬儀のみならず近年の多様化するニーズを見据え無宗教葬へのアプローチも強化致しました。また、ご家族が故人にゆったりと寄り添えるご安置個室「貴殯室」、その他社内制作によるオリジナル商品を通じてご家族の方々の想いを形にする提案を継続致しました。加えて、幅広い顧客ニーズに対応するべく「追悼生花祭壇」のラインナップを追加いたしました。

教育面では、当社独自となる生前相談の研修であるカウンセリングセールストーク研修、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するコンサルティングセールストーク研修を現場で常に行えるよう、管理職に対して改めて実施いたしました。また、電話やメール相談を管理して集中対応するコールセンター機能を構築し、生前相談数増と決定率向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度において当社主要エリアにおける死亡人口増減率は前年同期に比べ上昇する中、当社グループの葬儀施行件数は増加となりました。また、各種対策の効果により葬祭一件単価も増加したため、売上高は9,192百万円（前年同期比5.8%増加）、営業利益は2,622百万円（前年同期比5.9%増加）となりました。

〈添付資料13～14ページ〉

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚	葬祭	互助会	介護	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	275,626	9,192,444	—	1,110,045	10,578,116	19,405	10,597,522
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	275,626	9,192,444	—	1,110,045	10,578,116	19,405	10,597,522
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	224,285	—	224,285	—	224,285
計	275,626	9,192,444	224,285	1,110,045	10,802,401	19,405	10,821,807
セグメント利益	35,242	<u>2,647,487</u>	137,866	25,935	<u>2,846,531</u>	898	<u>2,847,430</u>
セグメント資産	295,504	<u>15,721,201</u>	8,040,329	679,568	<u>24,736,603</u>	5,757	<u>24,742,361</u>
その他の項目							
減価償却費	18,164	<u>470,114</u>	42	21,501	<u>509,823</u>	1,258	<u>511,082</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,278	<u>655,695</u>	—	4,012	<u>670,986</u>	48,511	<u>719,497</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)		
売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,281,639	10,802,401
「その他」の区分の売上高	16,389	19,405
セグメント間取引消去	△216,122	△224,285
連結財務諸表の売上高	10,081,906	10,597,522

(単位：千円)		
利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,663,732	<u>2,846,531</u>
「その他」の区分の利益	898	898
全社費用(注)	△1,033,468	<u>△1,104,692</u>
連結財務諸表の営業利益	1,631,162	1,742,738

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	24,845,971	24,742,361
全社資産（注）	9,171,728	9,788,850
連結財務諸表の資産合計	34,017,700	34,531,212

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、有価証券及び投資有価証券であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	519,301	511,082	92,030	102,255	611,332	613,337
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,344,457	719,497	75,495	88,387	1,419,953	807,884

（注）調整額は、報告セグメントに帰属しない減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。

(訂正後)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚	葬祭	互助会	介護	計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	275,626	9,192,444	—	1,110,045	10,578,116	19,405	10,597,522
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	275,626	9,192,444	—	1,110,045	10,578,116	19,405	10,597,522
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	224,285	—	224,285	—	224,285
計	275,626	9,192,444	224,285	1,110,045	10,802,401	19,405	10,821,807
セグメント利益	35,242	<u>2,622,932</u>	137,866	25,935	<u>2,821,977</u>	898	<u>2,822,876</u>
セグメント資産	295,504	<u>15,826,624</u>	8,040,329	679,568	<u>24,842,026</u>	5,757	<u>24,847,784</u>
その他の項目							
減価償却費	18,164	<u>494,669</u>	42	21,501	<u>534,378</u>	1,258	<u>535,636</u>
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	11,278	<u>687,347</u>	—	4,012	<u>702,638</u>	48,511	<u>751,149</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,281,639	10,802,401
「その他」の区分の売上高	16,389	19,405
セグメント間取引消去	△216,122	△224,285
連結財務諸表の売上高	10,081,906	10,597,522

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,663,732	<u>2,821,977</u>
「その他」の区分の利益	898	898
全社費用(注)	△1,033,468	<u>△1,080,137</u>
連結財務諸表の営業利益	1,631,162	1,742,738

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	24,841,380	24,842,026
「その他」の区分の資産	4,591	5,757
全社資産（注）	9,171,728	9,683,427
連結財務諸表の資産合計	34,017,700	34,531,212

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、有価証券及び投資有価証券であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	518,379	534,378	922	1,258	92,030	77,700	611,332	613,337
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,344,457	702,638	－	48,511	75,495	56,735	1,419,953	807,884

（注）調整額は、事業セグメントに含まれない減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額であります。

以 上